

本アプリケーションがセキュリティブロックされる場合は

<1> リアルタイム保護 (Windows® 10/11)

当方（日曜プログラマ.com）において、「Windows セキュリティ」の中の機能の一つである「リアルタイム保護」が動作することにより、本アプリケーションがブロックされる現象を確認いたしました。

本アプリケーションがブロックされた場合は、以下の手順に従ってリアルタイム保護の設定をご確認いただき、設定が有効状態（オン）であった場合は、無効状態（オフ）にさせていただきますようお願いいたします。

【リアルタイム保護におけるブロックの回避手順】

1. 「スタート」 > 「設定」 > 「更新とセキュリティ」または「プライバシーとセキュリティ」 > 「Windows セキュリティ」 > 「ウイルスと脅威の防止」 > 「設定の管理」の順に選択します。
2. 「リアルタイム保護」の設定が「オン」の場合は、「オフ」に切り替えます。
3. 「ユーザー アカウント制御」が表示された場合は、「はい」をクリックします（管理者のパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します）。

※ リアルタイム保護は一時的に無効状態（オフ）にすることはできますが、一定時間を過ぎたり Windows を再起動したりすると自動的に有効状態（オン）に戻ります。

※ 本アプリケーションがブロックされた際に、リアルタイム保護の設定が既に無効状態（オフ）であった場合は、その他のセキュリティ関連の設定などをご確認いただきますようお願いいたします。

<2> スマート アプリ コントロール (Windows® 11)

当方において、「Windows セキュリティ」の中の機能の一つである「スマート アプリ コントロール」が動作することにより、本アプリケーションがブロックされる現象を確認いたしました。

本アプリケーションがブロックされた場合は、以下の手順に従ってスマート アプリ コントロールの設定をご確認いただき、設定が有効状態（オン）であった場合は、無効状態（オフ）にさせていただきますようお願いいたします。

【スマート アプリ コントロールにおけるブロックの回避手順】

1. 「スタート」 > 「設定」 > 「プライバシーとセキュリティ」 > 「Windows セキュリティ」 > 「アプリとブラウザーの制御」 > 「スマート アプリ コントロールの設定」の順に選択します。
2. 「スマート アプリ コントロール」の設定が「オン」の場合は、「オフ」に切り替えます。
3. 「警告：この機能を無効にすることは永続的なものであり、お勧めできません。」と表示されるので「それでも続行する」をクリックします。
4. 「ユーザー アカウント制御」が表示された場合は、「はい」をクリックします（管理者のパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します）。

※ スマート アプリ コントロールを有効状態（オン）に戻すには、Windows® 11 のクリーンインストールが必要になりますのでご注意ください。

※ 本アプリケーションがブロックされた際に、スマート アプリ コントロールの設定が既に無効状態（オフ）であった場合は、その他のセキュリティ関連の設定などをご確認いただきますようお願いいたします。